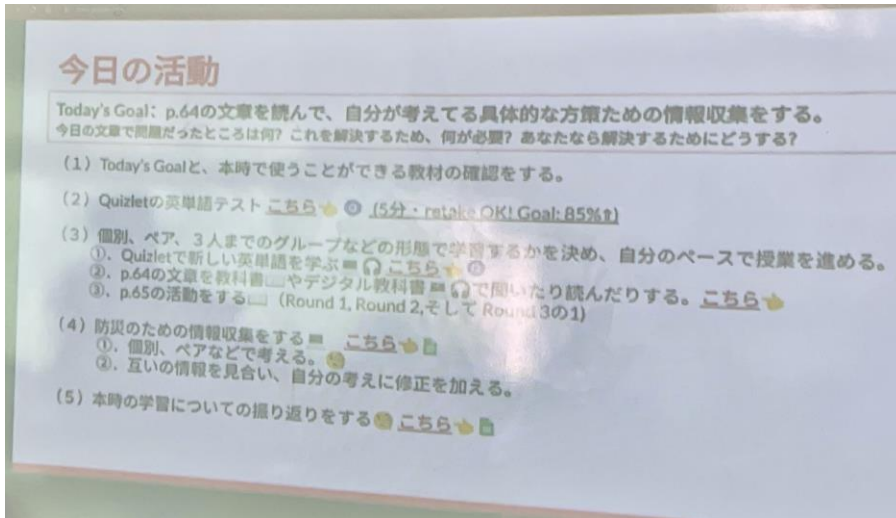


【取組内容①】 教育DX推進による子ども主体の授業～自ら課題を設定し解決する授業への転換！～

【英語】 自分が考えている防災対策の具体的な方策作成に向けて、英語の教科書の文章を読み情報収集を行う

Googleクラスルームで本時の追究方法を示し、生徒がクラウドでいつでも確認できるようにする。

生徒は、Googleスプレッドシートに、収集した情報を個々に入力し、お互いに参照できるようにする。



p.59の情報収集	p.60の情報収集	p.62の情報収集
特に、どのくらい飲料と水を備蓄するべきか知られていない。英語や他の言語にも対応した看板を作るべきか。どこに避難所があるかわかっていない	非常用の飲料と水を入れたバッグを置いておく 災害が起きたときにどこへ避難するかを家賃と話し合せて決めておく	地震が起きたときにどうやってどこへ避難すればいいかわかっていない 駅で地震が起きたときにアナウンスとネットの情報が全て日本語でわからなかった →英語のアナウンスや情報も出す
箕輪町の真中に焦点を置く。 避難所の確認はしなかったな。 マップ作るの場所を画いた物を作る。 備蓄しなきゃいけない水と食料の量をそろえなければならない。 調べてまとめる 大災害のときに呼ぶ番号を知らなければならない。 日本なら119 消化器の使い方をしらなきゃだめ わかりやすい使い方の説明を作る。		外国人は地震が起こった際にどうすればいいのかを日本語で説明されるので、分らずパニックになる。 駅で地震が起こった際もアナウンスは日本語で説明されるため伝わらないし、インターネットで地震の最新情報を調べても日本語だけでわからない。 英語で説明できる何かがあればならない。 急なバスでの移動の情報も伝えられるように、随時必要に 英語で情報を伝えられるものが必要だと思う。
避難場所がわからない外国人が多いため、どこに避難したら良いかわかりやすく伝える どのくらい飲料などを備蓄すればいいか、知らない人が多い	もしも災害が起こったときの対策として食料や水などを準備すること防災セットを準備する。	日本在住のバングラデシュ人。地震が起きたときにどこに避難すればいいのかわからない。
箕輪町の真中に焦点を置く。 避難所の確認はしなかったな。 マップ作るの場所を画いた物を作る。 備蓄しなきゃいけない水と食料の量をそろえなければならない。 調べてまとめる 大災害のときに呼ぶ番号を知らなければならない。 日本なら119 消化器の使い方をしらなきゃだめ わかりやすい使い方の説明を作る。 多くの外国人が災害時の対応がわからない	防災セットを作る	外国人は地震が起こった際にどうすればいいのかを日本語で説明されるので、分らずパニックになる。 駅で地震が起こった際もアナウンスは日本語で説明されるため伝わらないし、インターネットで地震の最新情報を調べても日本語だけでわからない。 英語で説明できる何かがあればならない。 急なバスでの移動の情報も伝えられるように、随時必要に 英語で情報を伝えられるものが必要だと思う。



デジタル教科書を使って音声を聞いたり、必要に応じて友達と教科書の内容を読み進めながら、自分の考えている防災対策の具体的な方策に向けて、英語の教科書から情報収集を行う。

Googleスプレッドシートに収集した情報を入力していく。前時までに自分が収集した情報や、友達の収集した情報を参照しながら、自分の考えている防災対策の具体的な方策を考えていく。

【取組内容①】教育DX推進による子ども主体の授業～自ら課題を設定し解決する授業への転換！～

子ども主体の授業づくりの実現に向けて授業公開

- 東京学芸大学大村龍太郎先生に、授業を見ていただき、指導を受ける（6月、11月、12月の3回）。
- 研究成果を他校と共有するため、授業の動画をオンラインで公開する。

授業公開の様子



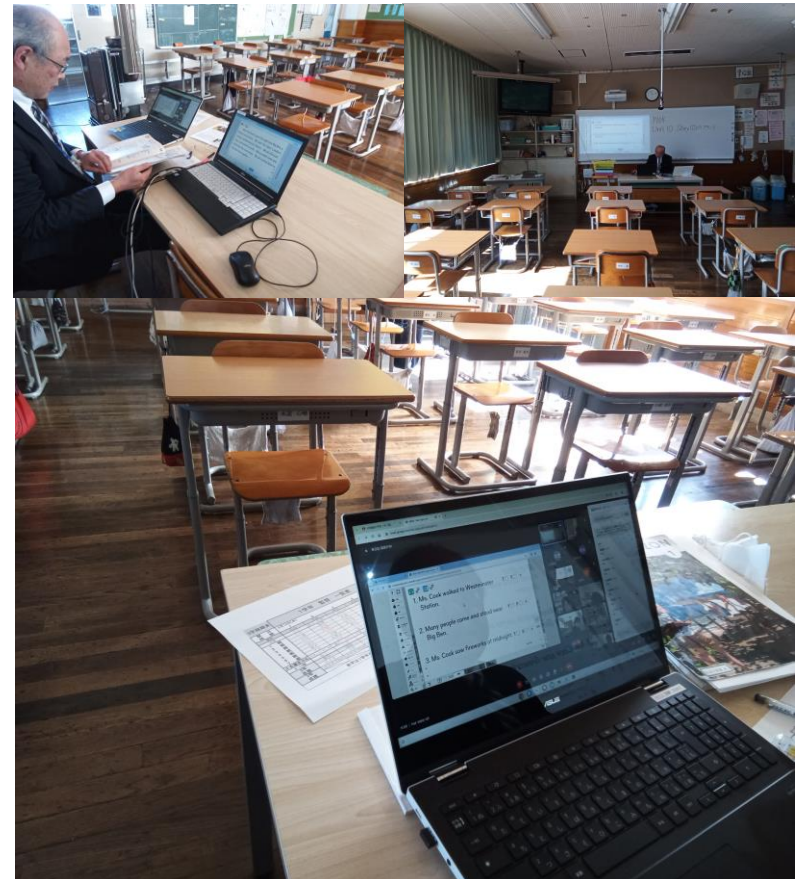
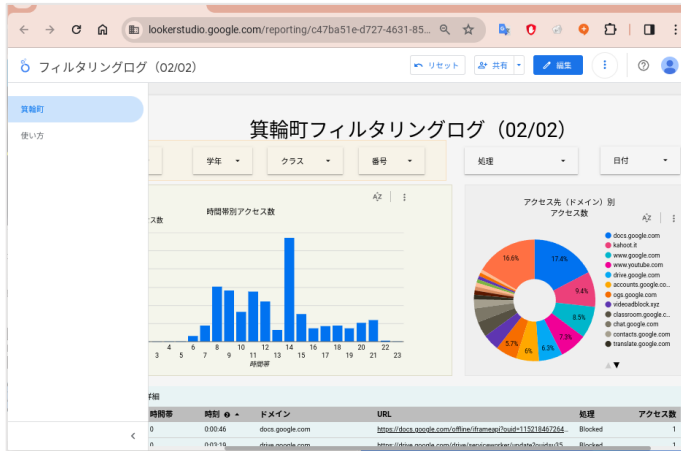
- Googleチャットによる授業情報の共有（校内・小学校同学年）



公開した授業の情報をGoogleチャットを使って、校内・町内の小学校同学年で共有

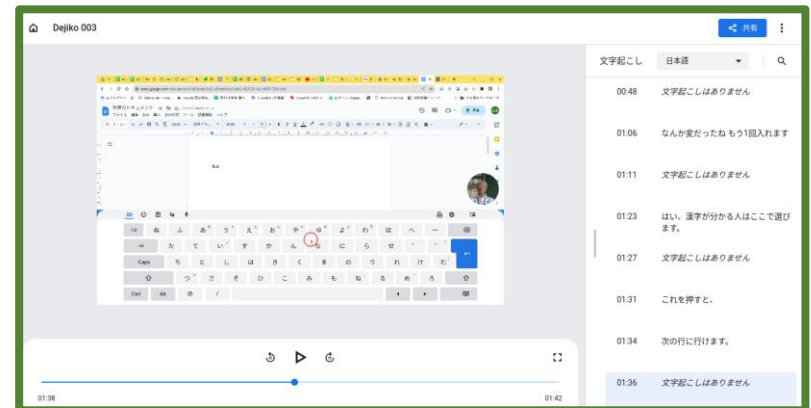
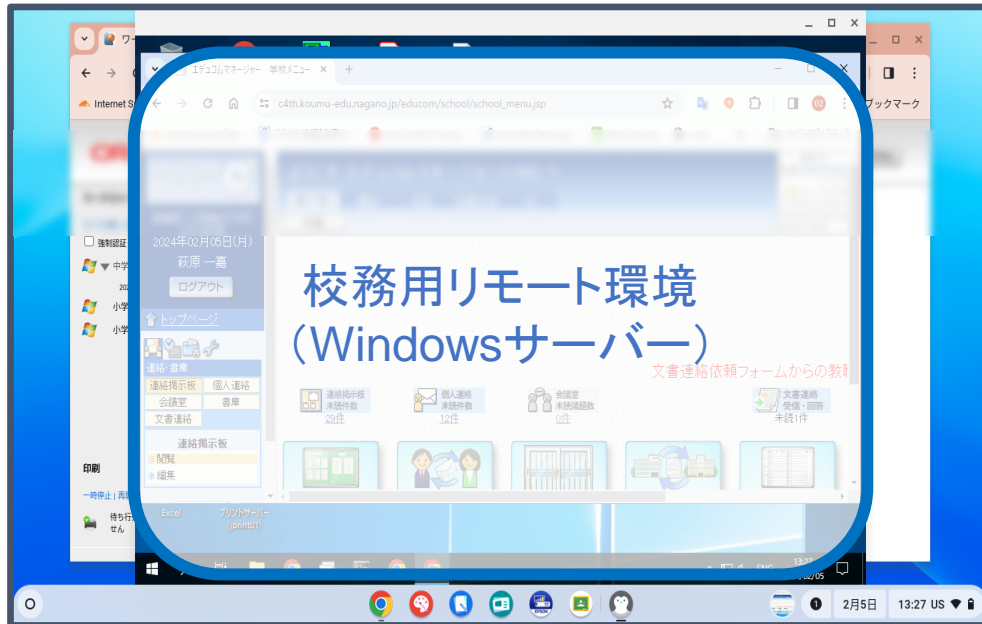
【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

- ・学校の必要性に応じた端末持ち帰り実施中。
下校後の活用状況についても「フィルタリング」「ドライブ」のログを可視化し、状況を確認できる
→Google Meetを使って学級閉鎖時でもオンラインで授業を受けることができる（写真右下）
- ・持ち帰りに伴う低学年への身体負担の懸念については荷物全体の調整を行う



【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」

- ・ 校務関連の作業環境をリモートデスクトップ化し、作業場所に依存しない作業環境を確保（写真左）
→ネットワーク全体に課題がありそうなことが見えてきており、
R6年度のネットワーク環境アセスメントで具体的な課題洗い出しの上対応予定。
- ・ 校内での授業の様子をGoogleチャットに投稿し、身近な授業実践事例を共有（既出）。
- ・ 職員研修の材料として児童・生徒向けの自主訓練用コンテンツを展開し活用いただく（写真右）。



授業でも使える様に、
児童・生徒と同じ Chromebook
からアクセスする仕組み

【取組内容⑤】実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組

町教委や学校ホームページで授業や「箕輪学（総合の時間を使った地元を発見する学習）」の様子を公開

- 町教委や学校ホームページで授業風景や「箕輪学」の様子を写真や動画で公開する。
- 町独自の「教育DXセミナー」の公開授業と全体会の様子を県内外にオンライン配信する



小学校での箕輪学の様子をHPで公開



教育DXセミナーのYouTube配信。事後に学校HPで報告

